

## Ⅱ 高齢者が活躍する地域社会の実現

### 第1 社会参画の促進

#### <現状と課題>

- 全国より約10年早く高齢化が進む本県では、他県に先駆けて生涯現役社会づくりに取り組み、その集大成となったねんりんピック山口大会において、大いに成果を発揮したところです。

今後、さらに少子高齢化が進行する中、地域の活力を維持していくためには、高齢者がこれまで培ってきた知識や技能等を活かしながら、地域社会に参画し、活躍できるよう支援していくことが重要です。

#### <五次プランの数値目標の達成状況>

(単位：箇所)

| 指 標                   | 平成25年度 | 目標値(29年度) | 見込値(29年度) | 達成率    |
|-----------------------|--------|-----------|-----------|--------|
| ふれあい・いきいきサロン数<br>(再掲) | 1,642  | 1,780     | 1,818     | 102.1% |

- ▼ 山口県社会福祉協議会など関係団体と連携して普及啓発に取り組んだ結果、サロン数は順調に増加し、目標を達成しています。

#### <取組方針>

高齢化がさらに進行する中、高齢者がその豊かな知識や経験、技能等を活かし、地域を支える担い手として積極的に社会参画することが期待されています。

また、社会参画することで、社会貢献による生きがいくくりや介護予防にもつながることから、ボランティアや就労等で高齢者が活躍する生涯現役社会の実現に向けた取組を推進します。

### 1 高齢者の活力発揮による多様な社会参画の促進

高齢者が、住み慣れた地域において役割を持ち、自らの意欲や知識・経験に応じて活躍できるよう、ボランティア・NPO活動や趣味、スポーツなど、多様な社会参画を促進します。

#### (1) 社会参画意識の醸成

平成27(2015)年10月に本県で開催された第28回全国健康福祉祭やまぐち大会(ねんりんピックおいでませ！山口2015)により高まった、高齢者の生きがい・社会貢献等に対する気運や成果を引き継ぎ、一層の社会参画を促進するため、県民意識の醸成や社会参画への支援体制の強化などの取組を推進します。

- 平成28(2016)年度から、これまでの県健康福祉祭を県版「ねんりんピック」として、愛称を「ねんりんピック山口」と定め、内容を充実して開催し、高齢者の社会参画の意識啓発を進めます。
- 10月の「生涯現役社会づくり推進月間」を中心に、県健康福祉祭など高齢者が多く参加するイベント等を通じた啓発活動や、ホームページ等での積極的な活動事例の紹介など、生涯現役社会づくりについて多様な普及啓発活動を展開します。
- 高齢者の社会参画を進めるに当たっては、男女が性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することを念頭におき、共に社会参画を進めていくことができるよう、意識啓発を行います。

## (2) 関係機関による推進

高齢者の社会参画への多様なニーズに対応するため、関係機関による取組を推進します。

- 社会参画の促進、生きがい・健康づくり等に向けた、地域の取組を推進する高齢者の自主的な活動を促進します。
- 生涯現役社会づくりに関する総合窓口である県生涯現役推進センター及び市町社会福祉協議会において相談支援、情報発信に取り組みます。
- 産学公の関係機関・団体等と連携・協働し、生涯現役社会づくりに向けた様々な取組を推進します。

## (3) 高齢者の主体的な社会参画の促進

### ア 老人クラブ活動の振興

- 地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として、高齢者の社会活動の基礎的な役割を果たしている老人クラブが行う健康づくり・介護予防活動、文化活動、世代間交流など魅力ある活動を支援します。
- 老人クラブが行う子どもの見守り活動や環境美化活動、交通安全運動など、地域貢献活動を支援します。
- 老人クラブが地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者の家庭を訪問し、家事援助等を行う高齢者相互支援活動を支援します。
- 老人クラブへの加入促進に向けた取組や、リーダー養成、若手高齢者の組織化などの体制強化の取組を支援します。

### イ NPO活動、ボランティア活動等の促進

- やまぐち県民活動支援センターを中心として、山口きらめき財団と連携しながら、NPO活動、コミュニティ活動等の県民の自主的・主体的な活動を支援します。
- ボランティアに関する情報をインターネットにより提供する「あいかさね

っと（やまぐち社会貢献活動支援ネット）」の活用により、県民の社会貢献活動への参加を促進します。

- 県ボランティアセンターと市町ボランティアセンターの機能強化と相互の連携を促進するとともに、様々なメディアを活用した情報提供によりボランティア活動に対する県民の意識啓発に努め、ボランティア活動を促進します。
- 高齢者の介護予防と地域貢献活動を進めるため、市町の行う地域支援事業等を活用した「介護支援ボランティア活動」の取組を支援します。
- J A女性部、漁協女性部、生活改善実行グループなど、地域を基盤にした多様な団体の活動を促進するとともに、社会参加や生きがいをいづくりに資するグループ育成の取組を支援します。
- 広域的な範囲で集落機能や日常生活を支え合う「地域コミュニティ組織づくり」を促進するなど、住民主体の地域づくり活動を進める上で、高齢者等の持てる力を発揮できる場づくりを支援します。

#### ウ 仲間づくりへの支援

- 県生涯現役推進センター等による情報提供や相談活動などの取組を通じ、学習・趣味・ボランティアなど共通の目的を持つ仲間づくりを支援し、高齢者の社会参画を促進します。
- 「ふれあい・いきいきサロン」等において、レクリエーション活動などによる住民が主体となった高齢者の生きがいをいづくり、仲間づくりを促進します。

#### エ 地域間交流活動の促進

- 県生涯現役推進センターが運営する「生涯現役社会づくりポータルサイト」等の活用により、高齢者の活動事例の情報を発信し、地域で活動する高齢者等の交流活動を促進します。
- 朝市・直売活動や体験交流活動等、農山漁村の高齢者が生産やくらしの中で培った知恵や技を活かした地域活動を推進します。
- 農山漁村の高齢者自身による生産やくらしを支えあう地域づくりを支援します。

#### オ 世代間交流活動の促進

- コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」の仕組みを生かし、小・中学校、保育施設等において、幼児・児童生徒と高齢者の交流活動や高齢者の授業への協力等を通じ、子どもが高齢者を身近に感じる環境づくりを進めるとともに、伝統や地域文化に関する教育や体験活動を充実します。
- 地域における子育て環境を充実させるため、地域の高齢者や子育て経験者等が保育所や放課後児童クラブ等において、子育て支援活動に参加する「子育てサポーター」への登録を促進するとともに、その受け皿となる子育てサ

ポーター活用施設の充実を図ります。

- 知識や経験、技能等を有する高齢者と、それを必要としている人との効果的なマッチングを図り、高齢者に幅広く多様な活動機会を提供できるよう、社会福祉協議会やシルバー人材センター等の連携を促進します。

#### (4) 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

##### ア 生涯学習・文化活動

- 高齢者等の多様な学習活動を支援し、促進するため、市町や大学等の高等教育機関、関係民間団体とのネットワーク化を進め、情報提供・学習相談・普及啓発・学習拠点等の機能を充実します。
- 生涯学習情報の円滑な提供を行うため、生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」の各種情報を一層充実します。
- 県民の学習活動・交流の拠点施設である県セミナーパークにおいて、地域づくりを担う人材育成事業等を積極的に展開します。
- 高齢者等の学習活動の一層の充実を図るため、情報や魅力的で多様な学習機会の提供、各種プログラムの開発、生涯学習を支援するボランティア活動の推進、学習成果の発表・評価・活用を促進します。
- 高齢者等が文化芸術を楽しみ感動できる環境づくりや、文化芸術を担う人材の育成、特色ある文化芸術活動を活かした地域づくり等を推進します。

##### イ スポーツ活動

- 高齢者等が生涯にわたってその関心や適性等に応じて身近にスポーツに親しむことができる社会の実現に向けた県民の自主的な活動の促進を図ります。
- 高齢者等のライフスタイルやニーズに応じた豊かなスポーツライフの実現につながるよう、県民総参加型のスポーツイベントの開催など、気軽にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、さらなる充実を図ります。
- スポーツを通じた人や地域の交流は、健康・体力づくりはもとより、地域の活性化につながることから、世代を超えた交流を促進する地域スポーツクラブを計画的に育成します。
- 高齢者等の自発的なスポーツ活動への参加意欲を高めるため、誰もがスポーツを「する、観る、支える」活動に気軽に参加できる環境を整備します。
- スポーツ指導者、各種大会を支えるスポーツボランティアなど、本県のスポーツを支える人材として、豊富な知識や経験を有する高齢者等の積極的な参加を促進します。
- 県内高齢者のスポーツ・文化の祭典である県健康福祉祭「ねんりんピック山口」を拡充し、高齢者の生きがいがづくり、仲間づくりを一層促進するとと

もに、全国健康福祉祭に選手を派遣します。

【図3-Ⅱ-1-1】全国健康福祉祭のシンボルマーク 【図3-Ⅱ-1-2】県健康福祉祭のマスコット



※シンボルマークの意味…老いも若きも仲良く、共に生きていく社会を二人の人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が広がっていくことを意味しています。



### ウ 人材の養成

- 生涯現役社会づくりの取組の推進役を担う地域リーダーとして養成した「長寿社会推進員」や、山口大会後も県内各地で活躍しているねんりんピック地域推進員「おいでませシニア隊」を通じ、地域情報の収集と発信を行うなど、地域での高齢者の様々な活動を支援します。
- 高齢者等を対象として、NPO活動やボランティア活動、農山漁村における活動、生涯学習ボランティア活動、地域学校協働活動、家庭教育支援に係る活動、地域スポーツ活動など様々な分野における人材を育成します。

### 〔数値目標24〕 高齢者の社会参画の促進

| 指 標                           | 平成29年度<br>(2017) | 平成32年度(目標値)<br>(2020) |
|-------------------------------|------------------|-----------------------|
| シニアが活躍できる社会づくりが進んでいると感じる県民の割合 | 36.6%            | 40.0%                 |

【図3-Ⅱ-1-3】山口県生涯現役社会づくりのシンボルマーク



※「生涯現役社会づくり」の普及啓発のために平成13(2001)年に作成しました(公募により選定)。

※生涯現役いきいき社会の「い」の一文字で、「いきいき人生」を過ごしている活力ある人が両手を広げて躍動している姿をデザインしています。中央の赤の丸は自己実現への情熱を、両手のブルー・グリーンは自然豊かな山口県をそれぞれ表現しています。